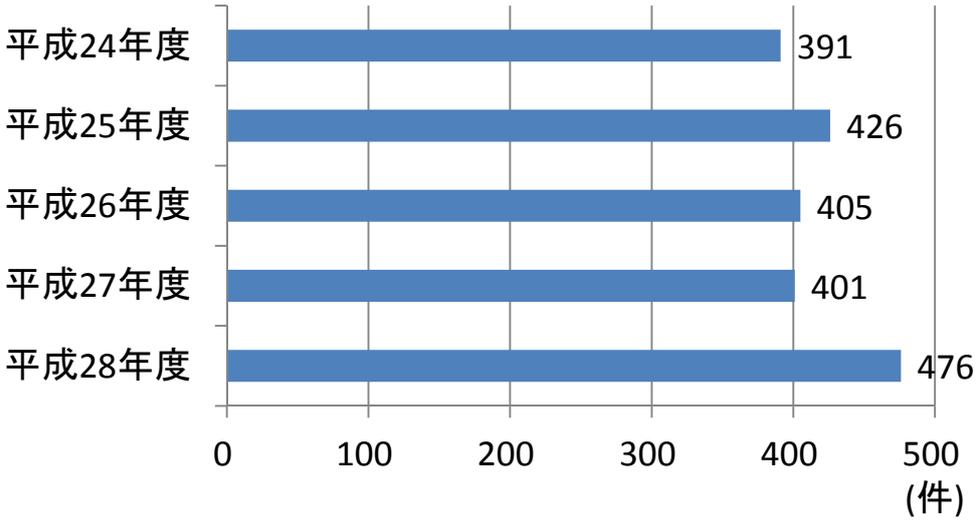




12 重症入院患者の手術麻酔件数

解説	重症な患者に全身麻酔をかけて手術する場合は、生命の危険を含む様々な危険が伴います。従って、手術中のみならず手術前後で十分に患者を観察し、慎重な麻酔を行える体制が必要になります。この指標は麻酔管理の難しい重症患者の手術ができる麻酔能力の高さとも言えます。												
実績	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成24年度</td><td>391</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>426</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>405</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>401</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>476</td></tr></tbody></table>	年度	件数	平成24年度	391	平成25年度	426	平成26年度	405	平成27年度	401	平成28年度	476
年度	件数												
平成24年度	391												
平成25年度	426												
平成26年度	405												
平成27年度	401												
平成28年度	476												
定義	国立大学病院データベースセンターのデータを元に算出した、医科診療報酬点数表における、「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔（麻酔困難な患者）の算定件数です。												